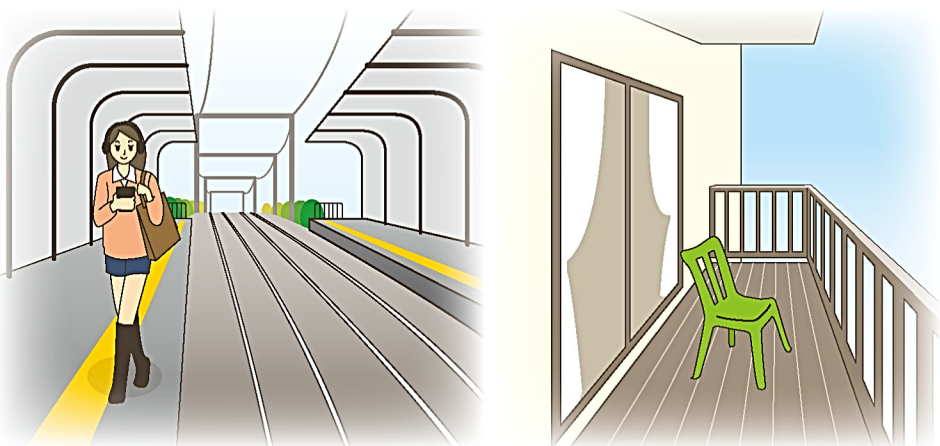


転落

1 こんな時、どのような事故が起きるか想像してみましょう。(危険予知トレーニング)



事故予防のためのチェックリスト

- 人通りの多い場所では周りに注意しながら通行していますか。
- ベランダに子どもが上れるようなものを置いていませんか。

事故例



携帯電話を操作しながら歩行中にぶつかり線路に転落



ベランダの椅子に上りバランスを崩して転落

— 転落は各年代で多く発生しています。 —

2 主な事故 (実際にあった事例です)

高齢者

- 階段の上から転落し、全身をケガ
- 椅子の上で電球の交換をしていて、バランスを崩して転落し、頭をケガ
- トイレに行こうとして、ベッドから転落し、腕を骨折



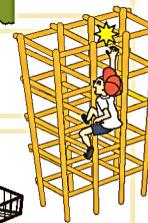
大人

- 屋上で洗濯物を取り込んでいて、飛ばされた洋服をつかんだ際に転落し、骨盤を骨折
- お酒に酔って駅のホームから転落し、頭をケガ



子ども

- ジャングルジムから転落し、頭をケガ



乳幼児

- 浴槽のふたの上に置いたベビーバスごと転落し、頭をケガ
- 自転車の補助席から転落し、頭をケガ
- 買物カートの座席から立ち上がり転落し、頭をケガ



3 事故予防対策

ゆっくりと行動する

姿勢を変える時などは慌てずにゆっくりと行動しましょう。



バランスの悪いものには上らない

椅子の上立つとバランスを崩しやすいので上らないようにしましょう。



手すりの設置

階段に手すりを設置しましょう。



小さなお子さんから目を離さない

子どもの行動には注意しましょう。また、自転車に乗せるときはヘルメットをかぶらせましょう。

